

平成24年度市長公室人事秘書課執行目標達成状況表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	達成 状況	達成済の結果及び未達成の場合はその理由と取組のプロセス
1	<p>木津川市人材育成支援制度の見直し実施</p>	<p>≪試行実施を通じた課題整理及び制度の見直し≫</p> <p>【次の事項を整理しながら取り組んでいく】</p> <p>○木津川市人材育成基本方針を策定し、人材育成支援制度の目標を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も試行実施している人事考課制度の検証と見直しを行い、人材育成の基本方針を明確にした上で、総合的な人材育成支援制度を構築していく。 ・他団体制度の調査・研究 ・面談マニュアル等の作成 ・職員研修 ・その他 <p>* 施行（来年4月）</p>	△	<p>人材育成基本方針の策定が未達成。 事務担当レベルの原案検討段階に留まる。</p> <p>人材育成基本方針は、人材育成の根幹であるが、市行政を取り巻く環境の変化は著しく、また政権の交代により国の施策方針も大きく転換していく中で、市職員の育成について、明確なビジョンをまとめられていない。</p> <p>平成24年度には、平成22年度から試行実施している人事考課制度の見直しについても、併せて工程表を作成していたが、人材育成の基本方針がまとめられず、制度の実施に至っていない。</p> <p>今後の取組みとしては、事務担当レベルの原案を元に、人材育成基本方針（案）を作成して、政策会議の審議に付す。</p>

2	<p>木津川市長賞等交付基準に関する条例の制定</p> <p>昨年度、「木津川市長賞等交付基準に関する規程」の制定に向けて関係課で協議を行ったが、合意が得られず、再度原案を作成し必要な整備を行う。</p> <p>(目的)</p> <p>「市長賞等の交付に関しては、明確な基準がなく、その都度の判断によって交付が行われていることから、一定の基準を設ける。」</p>	<p>△</p> <p>《平成23年度の原案を基本として作成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正案の作成（7月） ・調整会議へ付議（8月） ・政策会議へ付議（8月） ・条例（案）を議会上程（12月） <p>* 施行（来年4月）</p>	<p>△</p> <p>条例制定の執行目標は修正案が策定できず未達成。</p> <p>調査・研究段階から検討段階に留まる。</p> <p>国・府の表彰基準の8割を木津川市の表彰の基準年数にしようと調査・研究を実施した。実施結果を基に木津川市独自の「木津川市長賞等交付基準に関する条例」制定の修正案を作成するよう取り組んだ。</p> <p>しかし、表彰基準を設けるに当たり基準年数のみならず、どこまで表彰を広げていくか等、細部において検討する項目も多くあることから、修正案策定まで至っていない。</p> <p>今後の取組みとしては、できるだけ早く原案（修正案）を作成し、調整会議を経て政策会議の審議に付したい。</p>
---	--	---	--

※達成状況の欄は、目標以上に達成した場合は◎、目標どおり概ね達成した場合は○、目標が未達成の場合は△を記入すること。